

令和2年1月21日
緑を豊かにする委員会 資料2

概要版 Vol. 1.0



基本構想2020-2070

城山公園再整備 基本構想案

城山公園再整備検討委員会

令和2年1月



長野市

次の世代へ
since 1900

文化と芸術と交流の杜

城山公園は開設からまもなく120年が経とうとしています。昔から人々を惹きつけてきた公園がこの先も愛され、親しまれ、そして誇れる公園として継いでいけるように、公園の将来像を示します。



整備方針

文化と芸術の創造

これまで文化的な活動の場としての役割を担ってきた経過から、これからも文化と教養を育む場とするとともに、信濃美術館と東山魁夷館を通じて芸術の拠点性を高めます。

▷ 主な取り組み 噴水広場、美術館、文化イベント、野外彫刻

レクリエーション機能の充実

子どもからお年寄りまで誰もがいきいきと楽しく過ごせるような憩いの場とするとともに、善光寺に近い立地を活かして観光客も楽しめるような交流の場を提供します。

▷ 主な取り組み 交流施設、飲食ブース、多目的広場、ジョギングコース

みどり豊かな美しい公園の育成

公園内の樹木を大切に保全しながら豊かな緑地を育てていくとともに、良好な景色と眺望を活かして周辺の景観と調和する美しい公園をつくります。

▷ 主な取り組み 樹木の育成、桜の育成、景観の醸成

3つの強化項目

☑防災機能の強化

☑駐車場の整備

☑アクセス性の向上

基本構想図

城山公園がもっている特徴や立地条件などを踏まえて、公園を3つの大きなゾーンに分けます。それぞれのゾーンに整備方針に基づいたテーマを持たせて、そのテーマに沿った形で公園整備を進めていくことで統一感のある公園をつくります。また、公園の中心道路をメイン園路に位置付けて遊歩道化することで、利用者が安全で快適に過ごせるような広々とした公園とします。さらには、公園内に新たなアクセス道路を想定して園内交通を円滑にします。



このゾーンは、起伏のある地形に自然が残る場所となっており、都市の貴重な緑地空間になっていることから、それらの自然環境を活かして誰もがいきいきと過ごし、自然や生物とふれあえる場とします。



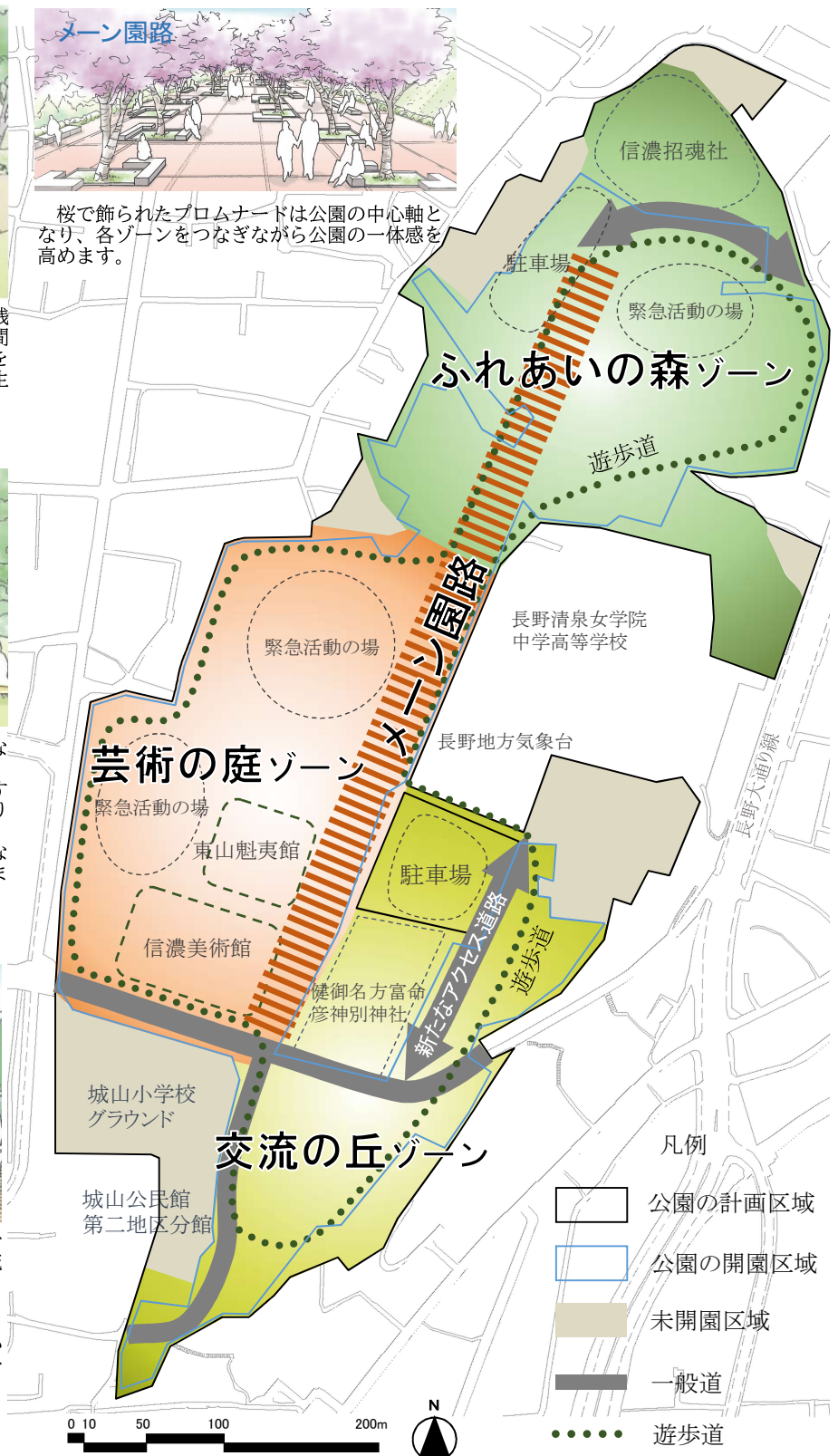
このゾーンは、古くから善光寺と一体となり、文化的な行事が催されてきた場所です。また、県下最大の美術館がリニューアルすることにより芸術がさらに身近なものとなります。今後も、人々が文化と芸術を通じて豊かな心と感性を養うことができる鑑賞の場とします。



このゾーンは、善光寺に比較的近い場所であることから、これまで人々の文化的な交流が盛んに行われてきた場所です。また、高台から長野市街地や信州の山々を見渡せる良好な眺望と緑豊かな森空間が魅力となっていることから、これらの魅力を活かして来訪者が長野の文化にふれながら交流できる社交の場とします。

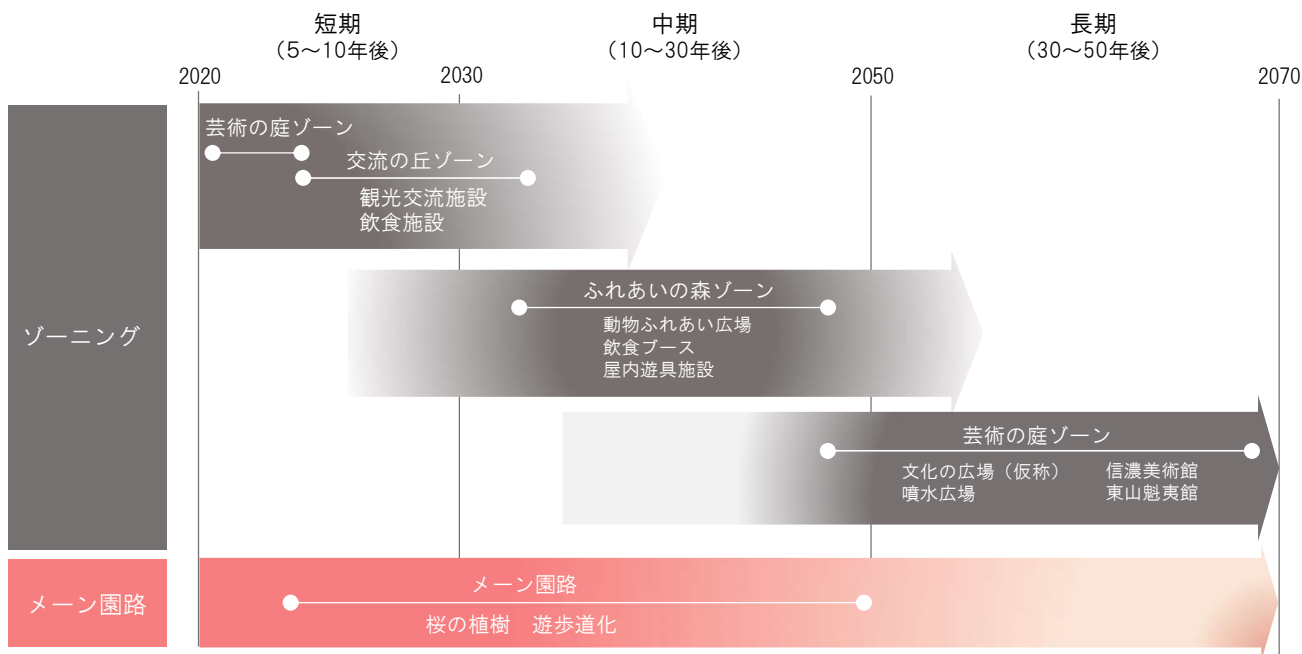


桜で飾られたプロムナードは公園の中心軸となり、各ゾーンをつなぎながら公園の一体感を高めます。



段階整備

公園内にある施設は、整備された時期が異なっているため、更新の時期を段階的に迎えることになります。したがって、一斉に再整備に取り掛かるのではなく段階的に着手していく必要があります。そこで、現存施設の残耐用年数や整備の優先度に着眼して、全体期間を3つに分割して段階的に着手していきます。



短期(5～10年後)

中期(10～30年後)

長期(30～50年後)

